

ONE FOR ALL



ALL FOR ONE



住所 〒770-8539
徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3
TEL 088-631-7151 (代表)
Mail kenshu@tph.gr.jp

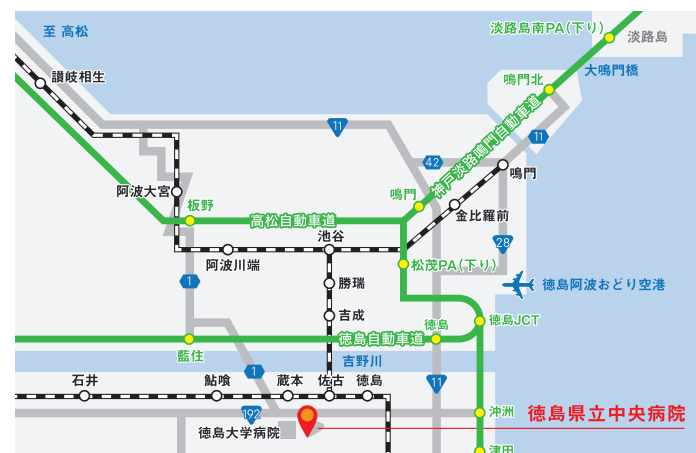
[ホームページ]



[Instagram]



【アクセス】
・JR 徳島線「蔵本駅」より徒歩10分
・徳島自動車道「藍住IC」より県道1号経由にて車で7km、約15分



令和8年度
初期臨床研修プログラム

強くて優しい 病院づくり



「強い」
断らない紹介・救急
24時間急性期病院

「優しい」
患者・家族に、地域連携病院に
仲間・スタッフに優しい

“強くて優しい病院づくり”を基本コンセプトとして、救急、がん、周産期、小児、精神を中心に、高度先進医療全般にかかわる急性期病院として、また基幹災害拠点病院として、更なる進化を目指していきます。



当院について

災害医療

- ・災害拠点基幹病院
自衛隊救難ヘリが着陸可能な
大型ヘリポート
免震構造・災害備蓄倉庫、非常用
自家発電装置
医療ガス設備を配置した幅広い
トリアージスペース
- ・DMAT(災害派遣医療チーム)
- ・災害拠点精神科病院
- ・DPAT(災害派遣精神医療チーム)

がん治療

- ・地域がん診療連携拠点病院
高精度放射線治療装置(リニアック)
ダ・ヴィンチ(手術支援ロボット)
PET-CT・内視鏡手術・放射線治療・
化学療法など幅広い専門的医療
- ・がん診療支援センター
緩和ケア外来
セカンドオピニオン外来
県民公開講座

精神医療

- ・精神科救急・合併症受入病院
精神科疾患全般を対象とした診療
急性期病院型総合病院として身体
合併症に対応
- ・認知症ケアチーム・リエゾンチーム
- ・基幹型認知症疾患医療センター

周産期医療

- ・地域周産期母子医療センター
NICU・GCU:リスクのある妊娠に
対する医療や新生児医療の実施
LDR室(居住型分娩室)

小児医療

- ・小児救急医療拠点病院
紹介患者及び救急搬送患者に対応
(24時間365日)

救命救急医療

- ・救命救急センター
手術部門・集中治療部門との連携
- ・総合診療科
- ・ドクターヘリ基地病院
- ・小児救急医療拠点病院
- ・外傷センター

ご挨拶



徳島県立中央病院
病院長

ハク タカシ
葉久 貴司

社会へ貢献できる医師を 共に目指しましょう

Contribute to society

医学・医療の進歩はめざましく、求められる知識や技術も極めて高度化、複雑化、多様化しています。徳島県立中央病院での初期臨床研修を通して、医師に求められる医のマインドと基本となる診療能力を身に付けていただきたいと思います。初期臨床研修は、医療を求める人々を全人的に理解し、安全・安心な医療を提供できるようになるためのものであり、日々の学びに何一つ無駄なことはありません。中でも、感染症に適切に対応できる能力を習得することは、将来どの専門科に進んでも重要です。また、急患の受け入れは医の原点であり、特に救急外来は、多職種協働によるチーム医療を実践する場であることから、次のステップに繋がる多くの学びを得ることができます。医師としての責任を自覚し、5年後、10年後を見据えて研修され、社会へ貢献できる医師に成長されることを期待しています。



臨床研修管理委員会
委員長(消化器内科部長)

オモヤ トシヒロ
面家 敏宏

AIと共存する プロフェッションとして

As a profession coexisting with AI

生成AI、AGI、5G遠隔診療などIT技術、外科手術支援ロボティクスなどが進化し、医師に求められるプロフェッショナルリズムが重要となるなか、基本的な医療技能を習得するために、初期研修は非常に重要です。Strike while the iron is hot.優れた研修は、将来の臨床能力の発展に大きく貢献します。隣接した大学病院とともに総合メディカルゾーンを構成する当院では、屋根瓦式の教え教えられるチーム指導体制を整えています。EBMに基づいた、透明性のある、患者さんに優しい全人的医療を目標に、科学的で、個々の研修医にあった人間性豊かな指導ができる、経験豊富な専門医資格をもつ研修指導医が多数在籍してシームレスな医師養成を行います。自らを高める姿勢をもったみなさんのお越しを心よりお待ちしております。



臨床研修病院として

#1 理念

患者に信頼される医師となるため、医師として人格を涵養し、基本的な診療能力と全人的医療を行う臨床力を身につけることを理念としています。

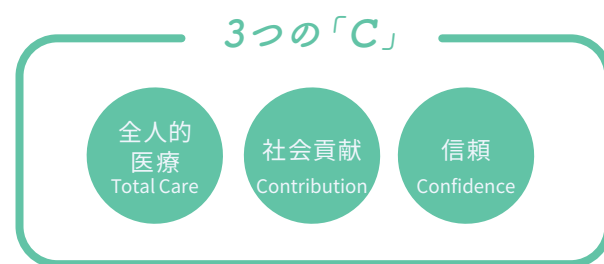
#2 基本方針

- プライマリケアの基本的な診療能力(知識・態度・技能)を身につけ、幅広い疾患に対応できる能力を養う。
- 疾病の治療において、一人の尊厳ある個人として患者を全人的に診る能力を身につける。
- 患者への慈愛の心を培い、信頼される医師として、チーム医療を実践し、社会に貢献することに努める。
- 日本及び世界の医療に貢献できる医師を目指す。

#3 役割・機能

県民に支えられた地域医療の先導的な役割を果たす病院として、患者さんを中心としたチーム医療を実践し、高い倫理性に基づいた世界水準の医療を提供し、医療文化向上のための人材を育成します。

#4 指針と目標



#5 総合メディカルゾーン構想

県立中央病院と徳島大学病院が隣接している強みを生かし「総合メディカルゾーン」として医療や教育など積極的に連携をすすめています。

概要と臨床指標

令和7年4月1日現在

病床数	440床(一般病床390床、結核病床5床、感染症病床5床、精神病床40床)				
診療科	呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科 消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、急性期リハビリテーション科 整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 放射線診断・IVR科、放射線治療科、病理診断科、救急科、麻酔科、臨床腫瘍科、総合診療科、集中治療科				
主な医療機器	ダ・ヴィンチ(手術支援ロボット) リニアック2台 PET-CT SPECT MRI(3.0T及び1.5T) CT(256列及び128列) DSA装置3台(パイプラインDSA2台、IVR-CT1台)				
臨床指標 (令和6年実績)	一日平均入院患者数	335.7人	救急医療	3次救急(救命救急センター)	
	一日平均外来患者数	542.8人		救急患者総数	13,388人
	平均在院日数	10.0日		うち救急搬送受入数	5,809人
	年間手術数	5,341人		ドクターヘリ出動件数	374件
	分娩件数	183件		ドクターカー出動件数	309件

臨床研修実績

令和7年4月1日現在

	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
年次	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医	1年次	2年次	後期研修医
人数 (初期は基幹型)	13名	4名	13名	10名	13名	14名	13名	11名	16名	13名	13名	18名
出身大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・帝京大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・滋賀医科大学 ・愛知医科大学 ・金沢医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・徳島大学 ・帝京大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・帝京大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・帝京大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学	・徳島大学 ・自治医科大学 ・香川大学 ・鳥取大学 ・兵庫医科大学 ・獨協医科大学

医師数(初期臨床研修医を除く)

令和7年4月1日現在

診療科名 (所属名)	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	脳神経内科	血液内科	糖尿病・代謝内科	外科	心血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	精神科	小児科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	耳鼻咽喉科	放射線科	病理診断科	救急科	麻酔科	臨床腫瘍科	総合診療科	集中治療科	計
医師数	6	13	7	2	5	4	12	3	4	5	3	6	8	3	6	4	3	9	2	6	5	2	3	4	125
うち指導医数	2	9	6	1	4	3	10	2	3	4	3	4	5	2	4	3	2	8	2	1	5	2	1	1	87

先輩からのメッセージ



初期臨床研修医1年次
ヤノ テルヒロ
矢野 晶大
Yano Teruhiro



- Interview
- Q 休日の過ごし方は？
 - YouTubeで動画鑑賞をしています！
 - バスケットボールも楽しんでいます！

充実した指導環境

こんにちは、初期研修医1年目の矢野晶大です。医学生の皆さんは、どのように初期研修の病院を選んでいるのでしょうか？今回は、私が1年間働いてみて良かったと感じた点をご紹介します。

まず、3次救急病院であることです。救急科ローテーションや当直で、命に関わる患者のファーストタッチを経験できたことは、かけがえない学びでした。また、当院には豊富な診療科が揃っており、各科に複数の専門医がいるため、どの科でも相談しやすい環境が整っています。このような指導体制は、日々の研修において大きな支えとなりました。

ぜひ、皆さんに当院のプログラムを選んでいただき、充実した研修生活を送っていただければと思います。



初期臨床研修医2年次
ナカムラ ナリホ
中村 成穂
Nakamura Nariho



- Interview
- Q 休日の過ごし方は？
 - 海部病院での研修をきっかけにダイビングの免許を取得しました。
 - 休日はダイビング三昧！

何事にも取り組める環境

こんにちは。初期研修医2年次の中村成穂です。徳島県立中央病院で研修して、私なりに感じたことをお話できればと思います。

当院は1次救急から3次救急までの対応を行い、かつほぼ全ての診療科を有しております。2年間研修することで幅広い症例を経験できます。なかでも救急外来では研修医がファーストタッチを行い、上級医の先生方から指導を受けながら、問診から検査・治療方針を考える力を養うことができます。またドクターヘリにOJTとして参加できるのは魅力の一つです。また内科での研修では輸液管理等と実際に行うことで病棟管理を学ぶことができます。病院全体で研修医を育てようとしてくれる環境があり、2年間充実した研修生活を送ることができると思います。

専攻医1年目からドクターカーに搭乗できる！

救急科専攻医として当院の救急科専門研修プログラムで研修を行っている、大久保隼人といます。徳島大学を卒業後、当院で初期臨床研修を行い、そのまま当院の専攻医プログラムに乗っています。

初期研修中からドクターヘリのon the job trainingを経験させてもらったこともあって、プレホスピタルでの診療に興味を持っており、専攻医1年目からドクターカー搭乗の独り立ちをすることは非常に魅力的でした。実際に約半年のOJT期間を経て、救命士・看護師とともに病院前に出動していますが、情報も医療資源も少ない中でdecision makingを迫られる非常にエキサイティングな時間で、是非皆さんにも経験してほしいと思います。

皆さんがチームメイトになってくれることを心待ちにしています。

専攻研修医1年次
オオクボ ハヤト
大久保 隼人
Okubo Hayato



- Interview
- Q 休日の過ごし方は？
 - 車が好きで、洗車をしたりドライブに出かけたりしています！

徳島県立中央病院で働く

育児休業を取得してワークライフバランスを充実！

2022年より2年間、徳島県立中央病院で初期研修をしました後藤大貴と申します。

研修中に育児休暇を約2ヶ月間取得させていただきました。最初は研修医が育休を取ってもいいのかと不安もありましたが、育休取得を快諾いただいた上級医の先生方には感謝しています。いざ育休に入ると、初めてのことの連続で大変な思いを何度も経験しました。夜に眠れないこともあり、正直病院での仕事よりも忙しいと感じることも多々ありました。しかし、それ以上に子どもを育てることの楽しさを知ることができ、日々の成長を間近で感じられ、非常に有意義な2ヶ月となりました。

多忙で育休を取りづらい方が多くいると思いますが、子育ては一生の中で仕事と同等、それ以上に貴重な経験となります。悩んでいる方は短期間でもいいので取得してみてください。



令和5年度臨床研修修了
ゴトウ ダイキ
後藤 大貴



Web上で情報発信中！

初期臨床からつながる専攻研修

当院は3つの専門研修プログラム基幹病院です

内科

救急科

精神科

当院(基幹病院)の専門研修

- 内科・精神科は1年以上
 - 救急科は半年以上
- +連携施設などで専門研修



Instagram

当院の最新情報をInstagramでもチェックいただけます！

素敵なスタッフもご紹介しております。QRコードからアクセスしてご覧ください！

@tokushima_kenchu_hospital

\ InstagramのQRコードはこちら /



基幹型初期臨床研修

● 令和8年度 臨床力養成プログラム

1年次	必修11ヶ月	・救急科2ヶ月、外科2ヶ月、内科系7ヶ月 (※内科系7カ月：消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科から3診療科を各1ヶ月、2診療科を各2ヶ月)
	必修or選択1ヶ月	3月のみ必修もしくは自由選択 (※必修：小児科、産婦人科、精神科を1名ずつ、それ以外は23診療科から自由選択)
2年次	必修5～6ヶ月	救急科、小児科、産婦人科、精神科を各1ヶ月(1年次に履修している場合はそれ以外) 地域研修2ヶ月(三好病院、海部病院、上那賀病院(自治医のみ))
	選択6～7ヶ月	23診療科、集中治療・眼科(徳島大学病院)から1ヶ月 希望者は四国他県中央病院および鳴門病院での1週間の研修が可能 ※四国他県中央病院：愛媛県立中央病院、香川県立中央病院、高知医療センター

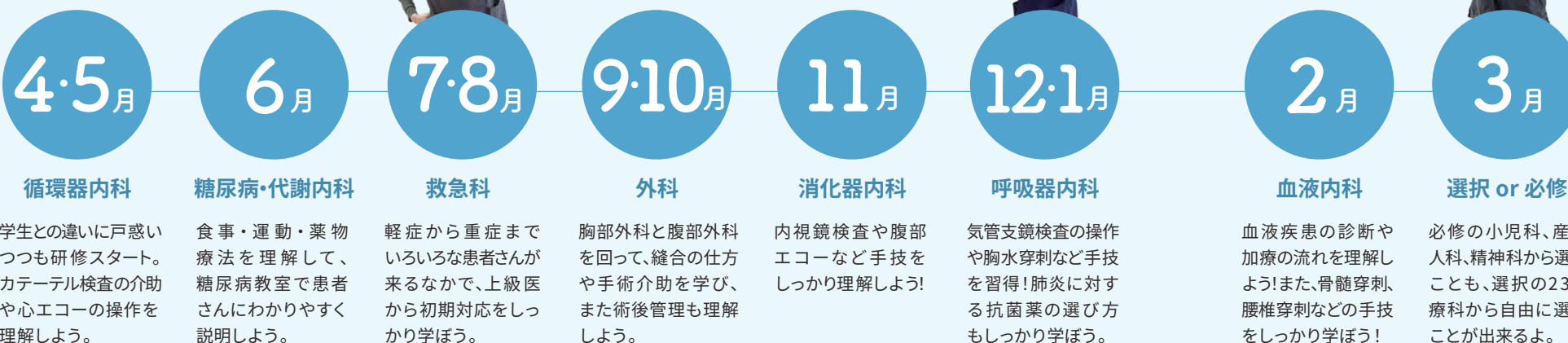
※選択科目23診療科

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、救急科 集中治療科、麻酔科、総合診療科

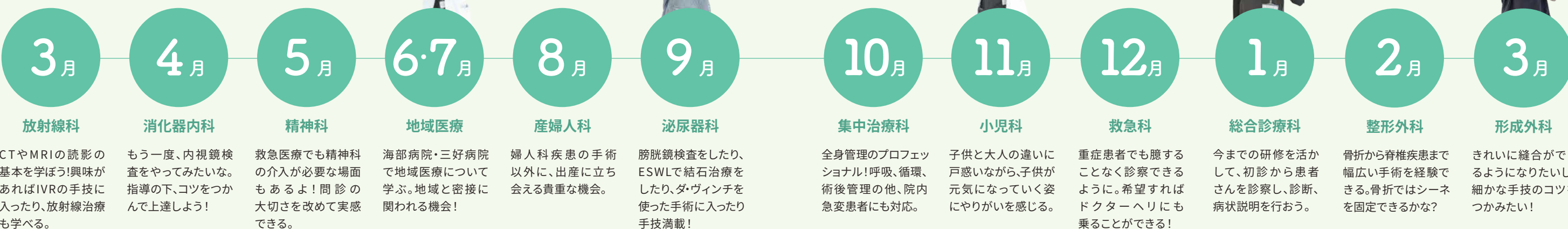
▼ Point!

当院は徳島県内唯一の
ドクターヘリ基地病院！
3次救急まで担う病院ならではの
症例数の多さと疾患の幅広さで
やりがいを感じられます！

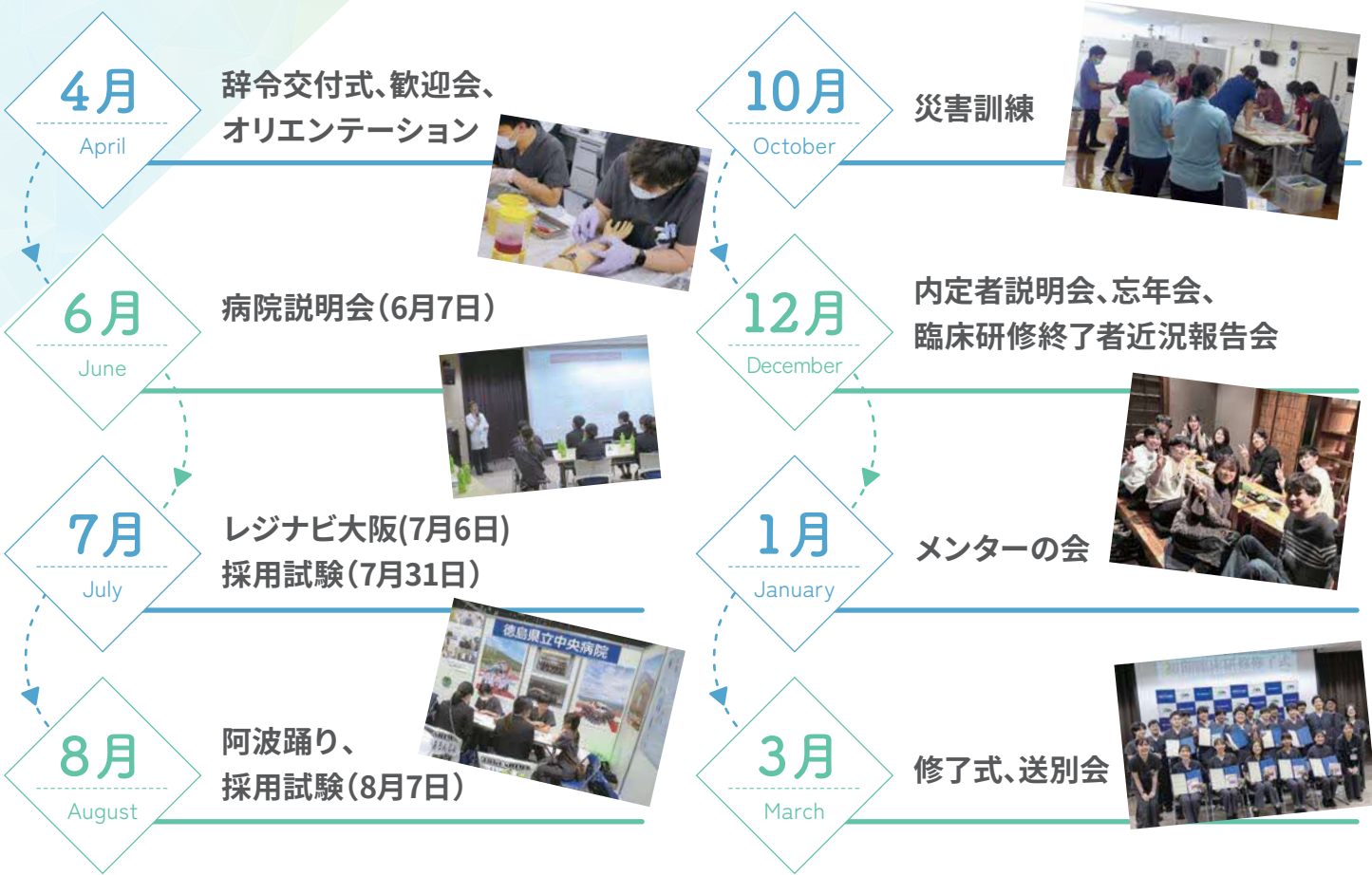
ローテーション例 1年次



ローテーション例 2年次



年間スケジュール



月間行事(例)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1 週目	イブニングセミナー	—	医療安全研修会※2	—	感染対策研修会※2
2 週目	—	臨床ベーシックレクチャー	医療英会話	—	グランドカンファレンス※1
3 週目	イブニングセミナー	—	医療英会話	Chanelカンファレンス※1	グランドカンファレンス※1 (CPC)
4 週目	M&Mカンファレンス※1 (偶数月の開催)	—	臨床倫理カンファレンス	臨床ベーシックレクチャー	グランドカンファレンス※1 (医学教育センター講演会)

※1 グランドカンファレンス、Chanelカンファレンス、M&Mカンファレンスは参加必須です。
※2 医療安全研修会、感染対策研修会はいずれも年2回の参加が必須です。
※ その他の研修会等は任意参加となります。スキルスラボ、図書室は24時間利用可能です。

募集要項

令和8年度 初期臨床研修募集要項

応募資格	令和8年3月 医師免許取得見込者
募集人数	1年次:12名 ※予定
研修期間	令和8年4月1日から2年間
選考方法	小論文及び面接／マッチング方式により採否を決定
申込期間	7月18日(金)必着(郵送または持参)
選考日	7月31日(木)または8月7日(木) ※予定
提出書類等	選考申込書を当院ホームページ(右記QRコード)からダウンロードしてください。 ※募集人数・選考日等が変更となる場合がありますので、お申し込みの前にホームページにて最新情報をご確認ください。
申込方法	封筒オモテに「臨床研修医」と朱書き、選考申込書を簡易書留郵便で送付してください。 持参される場合は、平日(午前9時～午後5時)にお願いします。



給与	1年次 720万円程度 2年次 760万円程度 地域手当、超過勤務手当、通勤手当、当直手当、賞与年2回含む
休日休暇	休 日:土・日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日) 休 暇:有給休暇20日/年、夏季休暇3日、その他特別休暇あり
社会保険	公務員共済(短期)、厚生年金※、雇用保険※、労災保険※ ※一定期間経過後は、公務員共済(長期)、退職手当、公務災害
研修等	基準内での学会・研修などの旅費・参加費の支給あり

病院見学等のお問い合わせもお気軽に！
たくさんのご応募お待ちしております！

身分	フルタイム会計年度任用職員
労務管理	勤務時間7時間45分(8:30～17:15) 週休2日制 年間最大想定時間外・休日労働時間A水準予定
その他	病院見学は随時受付(kenshu@tph.gr.jp)
提出及び問い合わせ先	宛 先:徳島県立中央病院事務局総務担当 住 所:〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3 電 話:088-631-7151(担当:渡邊) E-mail:kenshu@tph.gr.jp

